

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、令和5(2023)年3月に改訂された大東市人権行政基本方針において掲げられた「人権教育・啓発の推進」に関する本市における人権教育・啓発の現状と課題を把握することを目的として実施したものです。

2 調査の対象

大東市内に居住している満18歳以上の市民2,300人

※調査対象者2,300人のうち2,000人については、住民基本台帳から市内の性別・年齢別構成を考慮し、18歳以上の市民を層化抽出しました（これを標準サンプルという）。残りの300人については、回収率が低いとみられる18歳から39歳から抽出しました（これを追加サンプルという）。

3 調査期間

令和7(2025)年9月3日から9月24日

4 調査方法

郵送による配付・回収およびWEB回答を併用（調査期間中に、はがきによるお礼状兼催促状を1回送付）

5 回収状況

①標準サンプル

	抽出人数			有効回答者数					有効回答率		
	男性	女性	計	男性	女性	その他	無回答	計	男性	女性	計
18・19歳	25	23	48	3	2	0	0	5	12.0%	8.7%	10.4%
20～29歳	136	127	263	21	28	0	0	49	15.4%	22.0%	18.6%
30～39歳	123	115	238	23	38	0	0	61	18.7%	33.0%	25.6%
40～49歳	142	138	280	33	53	0	1	87	23.2%	38.4%	31.1%
50～59歳	199	196	395	55	77	0	0	132	27.6%	39.3%	33.4%
60～69歳	125	131	256	55	71	0	0	126	44.0%	54.2%	49.2%
70～79歳	127	161	288	54	79	0	0	133	42.5%	49.1%	46.2%
80歳以上	88	144	232	35	41	0	1	77	39.8%	28.5%	33.2%
無回答				0	2	0	11	13			
計	965	1,035	2,000	279	391	0	13	683	28.9%	37.8%	34.2%

②追加サンプル

	抽出人数			有効回答者数					有効回答率		
	男性	女性	計	男性	女性	その他	無回答	計	男性	女性	計
18・19歳	83	77	160	24	14	1	0	39	28.9%	18.2%	24.4%
20～29歳	36	34	70	7	10	0	0	17	19.4%	29.4%	24.3%
30～39歳	36	34	70	7	13	0	0	20	19.4%	38.2%	28.6%
計	155	145	300	38	37	1	0	76	24.5%	25.5%	25.3%

③合計（①標準サンプル+②追加サンプル）

	抽出人数			有効回答者数					有効回答率		
	男性	女性	計	男性	女性	その他	無回答	計	男性	女性	計
18・19歳	108	100	208	27	16	1	0	44	25.0%	16.0%	21.2%
20～29歳	172	161	333	28	38	0	0	66	16.3%	23.6%	19.8%
30～39歳	159	149	308	30	51	0	0	81	18.9%	34.2%	26.3%
40～49歳	142	138	280	33	53	0	1	87	23.2%	38.4%	31.1%
50～59歳	199	196	395	55	77	0	0	132	27.6%	39.3%	33.4%
60～69歳	125	131	256	55	71	0	0	126	44.0%	54.2%	49.2%
70～79歳	127	161	288	54	79	0	0	133	42.5%	49.1%	46.2%
80歳以上	88	144	232	35	41	0	1	77	39.8%	28.5%	33.2%
無回答				0	2	0	11	13			
計	1,120	1,180	2,300	317	428	1	13	759	28.3%	36.3%	33.0%

6 集計結果

今回実施した調査については、対象者2,300人全員を市内の性別・年齢別構成を考慮し層化抽出したのではなく、回収率が低いと想定される若年層の意見を少しでも多く取り入れるため、2,300人のうち300人を若年層に限定して層化抽出し、追加配付を実施しています。

これらに対する回収結果は、調査の精度（誤差）5%、信頼度95%と仮定した場合に必要とされるサンプル数について、全回答者及び女性回答者については条件を満たす一方で、男性回答者、また各年齢区分ごとの回答者については標準サンプルの結果に追加サンプルの結果を合わせた場合においても条件を満たしていません。

本報告書では標準サンプルを基本としたものを全体集計とし、前回調査と比較しています。また、年齢別集計についてのみ標準サンプルと追加サンプルの結果を合わせたものを掲載しています。

7 調査結果の表示方法

- ・ アンケート調査結果における各設問の母数 n (Number of caseの略) は、設問に対する有効回答者数を意味します。
- ・ 各選択肢の構成比 (%) は小数点第 2 位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。
- ・ グラフ及び集計表中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%です。
- ・ 性別を「その他」とした回答者は 1 人いましたが、調査結果を「男性」「女性」「その他」で表示すると、性別を「その他」とした回答者の各質問への回答状況がそのまま出てしまうため、表記を割愛しています。
- ・ 集計表内の「全体」には、性別・年齢別が無回答の回答も含まれています。
- ・ グラフにおいて、コンピューターの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。